資料3-2

	年度	会議名	主催者	開催時期	開催場所	会議の概要	会場での 参加人数
1	6	第9回全球エネルギー 水循環プロジェクト国際 会議	第9回全球エネルラックでは、 ルギースを受ける。 ルギースを受ける。 第4年のでは、 第4年のでは、 第4年のでは、 第4年のでは、 第5年のでは 第5年のでは 第5年のでは 第5年のでは 第5年のでは 第5年のでは 第5年のでは 第5年のでは 第5年のでは 第5年のでは	令和6年7月7日 ~14日	札幌市	「地球表面と大気におけるエネルギー及び水循環」をメインテーマに、「地球温暖化」、「気候変動の実態把握と予測」、「水・エネルギー問題」、「気候変動対策」、「人工衛星による地球観測」、「アジアモンスーン」、「気候モデリング」、「極端気象」などを主要題目とした研究発表と討論が行われる予定。	
2	6	太平洋クロマグロの管理に関する全米熱帯まぐろ類委員会(IATTC)・中西部太平洋まぐろ類委員会(WCPFC) 北小委員会の合同作業部会及びWCPFC第20回北小委員会		令和6年7月10 日~16日	釧路市	中西部太平洋の高度回遊性魚種に関する 会議。	150名程度
3	6	第34回原子分子光衝 突物理国際会議/34th International Conference on Photonic, Electronic and Atomic Collisions (ICPEAC2025)	第8回アジア分光 学国際会議組織 委員会/Local organizing committee of 8th Asian Spectroscopy Conference 2023	令和6年7月29 日~8月5日	札幌市	ASC provides a forum for discussing the latest advances in spectroscopic research to further enhance individual research activity, collaboration, and scientific networks in Asia and Oceania. ASC2023 is the first ASC held in Japan, and aims at strengthening good relationships and creating new networks among scientists including young generation. (アジア、オセアニアにおける個人の研究活動、共同研究、科学のネットワークを更に接進するために、分光学研究の最新の進捗を議論するために、分光学研究の最新の進捗を議論するために、若い世代を含めた科学者の新しいネットワークを創出することを狙いとしている。※日本語訳は国土交通省北海道局による)	?
4	6	第40回アジア競馬会議		令和6年8月27日~9月1日	札幌市	アジア・オセアニア・中東など28の競馬実施国(地域)が加盟する「アジア競馬連盟」(ARF)において、16〜30ヶ月毎に開催される世界規模の競馬会議。	800名程度
5	6	Global Offshore Wind Summit-Japan2024	一般社団法人日 本風力発電協会	令和6年9月3 日~4日	札幌市	GWEC(80カ国以上の1,500以上を超える風力エネルギー部門の企業、機関で構成)が中心となり開催される国際的な風力発電(特に洋上風力発電)をテーマとするイベント。	700名程度

6	6	Workshop on Work Engagement and Well- being in the Public Service	人事院国際課	令和6年10月9 日~12日	札幌市	ACCSM(ASEAN公務協力会議)+3(日中韓)の協力事業の一つとして、公務員制度に関連する各国共通の課題に対する解決策を見出し、また実践的な協力関係を促進するため、各国代表者等が議論を行うワークショップ。	60名程度
7	7	FHS International Conference	北海道大学大学 院保健科学研究 院	令和7年夏~ 秋	札幌市	海外の研究者の招待講演及び大学院生のポスターセッションをメインとする国際シンポジウム。	250名程度

% このほか、向こう 5 年間 (令和6~10年度) に、北海道で開催する可能性のある国際会議等が6件ある。

出典: 国土交通省北海道局調べ

注1: 国の機関等とは、各省庁、地方支分部局、各省庁が所管する独立行政法人、特殊法人などのことを指す。 2: 本資料の「国際会議等」は参加者総数10名以上、参加国数は日本を含む2カ国以上を対象としている。